

農 研 速 報

平成 24 年 8 月 1 日発行

茨城県農業総合センター 農業研究所水田利用研究室

〒301 - 0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297 - 62 - 0206 FAX 0297 - 64 - 0667

作物名(大豆)

県 名	生育ステージ		生育の状況	問題点	これまでに講じた対策 及び今後の方針	備 考
	本 年	平年対比				
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	タチナガハ 第 6 本葉 展開期	遅い	<p>6 月第 5 半旬から 7 月までの気象概況は、平年と比較して平均気温が 0.1 高く、日照時間は平年比 128%、積算降水量は平年比 86%であった(龍ヶ崎アメダスデータ。平年値は 1988～2010 年の平均値)。</p> <p>本年は播種時期の天候不順により播種が平年よりも 1 週間程度遅れたが、順調に生育している。</p> <p>播種が遅れたことにより、生育ステージは、タチナガハ、納豆小粒ともに第 6 本葉展開中で平年より遅い。</p> <p>生育はタチナガハ、納豆小粒とも主茎長、主茎節数、分枝数、茎の太さがいずれも平年を下回っており、生体重も軽い(表;7 月 25 日調査時点)。</p> <p>現在の生育状況は写真 1 のとおりである。</p>	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回目の中耕培土を 7 月 25 日に子葉節まで、2 回目の中耕培土を 7 月 31 日に初生葉まで行った。 ・ 紫斑病及び英害虫の防除を徹底する。紫斑病の防除期は開花期の 20 日後頃である。連続した降雨が続く場合は、開花後 30 日後に追加防除を行う。 ・ 開花期以後の水分不足は落莢を促すので、必要があれば灌水を行う。 	
	納豆小粒 第 6 本葉 展開期	遅い				

表 生育診断調査(7月25日調査、播種後28日)

品種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ			地上部生体重		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	-	-	-	19.9	66	67	7.8	73	76	0	0	0	5.0	86	86	12.5	33	36
		(8月2日)	(7月31日)		(30.2)	(29.6)		(10.7)	(10.2)		(1.1)	(0.8)		(5.8)	(5.8)		(37.7)	(34.8)
納豆小粒	-	-	-	20.5	82	73	8.7	92	83	0	0	0	4.2	91	76	13.1	64	43
		(8月7日)	(8月7日)		(24.9)	(28.3)		(10.4)	(10.5)		(1.3)	(1.6)		(4.6)	(5.5)		(20.5)	(30.2)

試験場所は農業研究所水田利用研究室内圃場(龍ヶ崎市、中粗粒灰色低地土)。
()内は前年値又は平年値。平年値は平成19年～23年(5ヵ年分)のデータの平均値。
茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間の長径を測定した。
耕種概要:6月27日播種、11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量;N-P₂O₅-K₂O:0.3-1.2-1.2(kg/a)



写真1 農研水田利用研究室圃場における生育状況(7月25日撮影)
播種日:6月27日、栽植密度:11.1株/m²(畦間60cm×株間15cm)1本立て、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2